

第3回

時計台対話集会

「森里海連環学が、日本の木文化を再生する」

●平成18年12月23日(祝)

●京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール

京都大学フィールド科学教育研究センター



目次

対談

「21世紀の人間と」森里海連環学」

3

村田 泰隆（株）村田製作所代表取締役社長

尾池 和夫（京都大学総長）

講演

「日本の森林は今」

22

竹内 典之（京都大学フィールド科学教育研究センター副センター長）

講演

「林野庁から始める林業再生」

37

山田 壽夫（九州森林管理局長）

パネルディスカッション

「林業が「生業（なりわい）」とよみがえることが、木文化を再生する」

57

小林 正美（京都大学大学院 地球環境学堂教授）

小池 三二（近くの山の木で家をつくる運動「宣言起草者」）

石出 和博（建築家、HOPグループ代表）

中島 浩一郎（銘建工業（株）代表取締役社長）

進行 天野 礼子（アウトドアライター）

「講師と参加者との対話」抄録

アンケートより

108

97



京都大学フィールド科学教育研究センター